

## 第2次いのち支える海田町自殺対策計画の施策体系

基本理念	みんなで支える大切ないのち ～誰も自殺に追い込まれることのないまち「かいた」～
基本目標	令和6年から令和10年の自殺者数を19人以下とする
基本施策	<p>1 地域におけるネットワークの強化</p> <p>自殺の原因は多岐にわたるため、地域全体の取組として推進していくことが重要です。関係機関と協働しながら、積極的に自殺対策に取り組む土台づくりを推進します。</p> <p>2 自殺対策を支える人材の育成</p> <p>悩んでいる人に寄り添い、関わりを通して支援することが重要です。自殺の危険を示すサインに気づき、支援できる人の輪を増やしていきます。</p> <p>3 住民への啓発と周知</p> <p>自殺に追い込まれるという危機は誰にでも起こり得るため、“困った時に援助を求めよう”が社会全体の共通認識となるよう、普及啓発に努めます。</p> <p>4 生きることの促進要因への支援</p> <p>自己肯定感や信頼できる人間関係をもつこと、危機回避能力等の「生きることの促進要因」を増やす取組を実践していきます。また、住民が安心して様々な悩みや困りごとを相談できるようワンストップで対応する等、相談支援体制を強化します。</p>
重点施策	<p>1 若年層への取組</p> <p>2 無職者・失業者・生活困窮者への取組</p> <p>3 勤務・経営者への取組</p> <p>4 高齢者への取組</p>

自殺対策に関わる主な目標指標		
項目	現状	目標
出前健康教育における、こころの支え合いに関する内容の実施率	40% (R4年度)	100%
自殺予防週間や自殺対策強化月間についての啓発の実施	広報やホームページに啓発記事を掲載	啓発の実施
こころの悩み相談窓口として何らかの機関を知っている人の割合	—	70%



令和6年3月発行  
海田町福祉保健部健康づくり推進課

〒736-8601 広島県安芸郡海田町南昭和町14番17号  
電話 (082) 823-4418  
FAX (082) 823-0020  
URL <https://www.town.kaita.lg.jp/>  
E-mail kenko@town.kaita.lg.jp

概要版

## 第4次健康かいた21

【健康増進計画・食育推進計画】

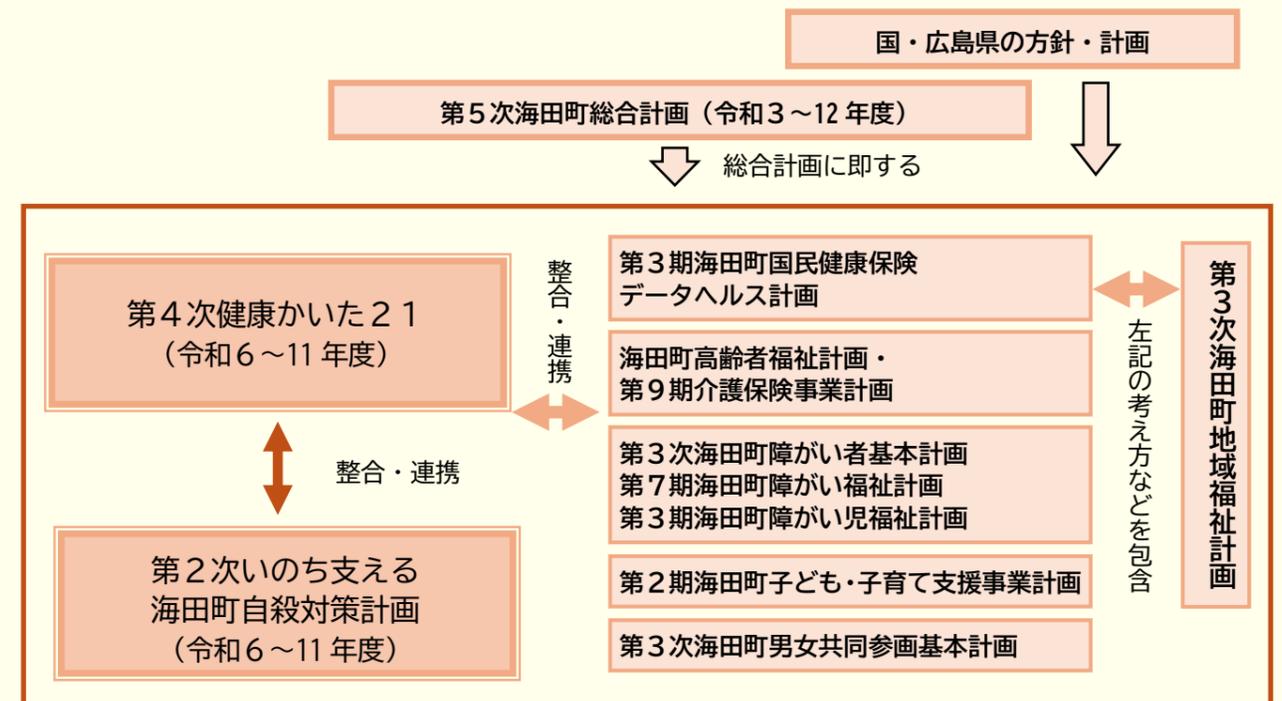
## 第2次いのち支える海田町自殺対策計画



健康で安心して暮らせるまち「かいた」を目指して、「第4次健康かいた21」及び「第2次いのち支える海田町自殺対策計画」を策定しました。病気や障がいのあるなしにかかわらず、地域で支え合いながら、その人らしい生き方で生活できるまち「かいた」を目指します。

### 計画の位置づけと計画期間

「第4次健康かいた21」は健康増進法及び食育基本法に基づき、町の健康づくりや食育推進の基本的な方向を示す計画として策定しました。また、「第2次いのち支える海田町自殺対策計画」は、自殺対策基本法に基づき、町の現状と課題をもとに全庁的な取組計画として策定しました。



海田町

## 第4次健康かいた21の施策体系

基本理念	健康で安心して暮らせるまち「かいた」
基本目標	健康寿命の延伸
基本方針	1 住民の健康づくりと健康格差の縮小 2 健康づくりの推進体制の充実・強化
施策の推進方針	1 ライフステージに応じた健康づくり 2 食育の推進 3 こころの健康づくり 4 生活習慣病（NCDs）の発症・重症化予防

## 健康増進計画

重点分野	目指す姿
① 身体活動・運動	・無理なく、日常生活の中で運動を実施し、継続することができる。 ・自らの健康づくりに活かせる身近な資源を知り、上手に活用することができる。
② 介護予防と社会参加	・住民が声をかけあって交流し、「社会とのつながり」「からだ」「栄養」「口腔」など多面的にフレイル予防に取り組むことができる。
③ 歯と口の健康	・定期的に歯科検診を受診し、歯と口の健康を維持することができる。
④ 栄養・食生活	(食育推進計画に含める)
⑤ こころの健康	・こころの不調に早めに気づき、周りの人や専門機関に相談できる。 ・良質な睡眠をとり、こころと身体の健康を維持することができる。
⑥ 生活習慣病（NCDs）発症予防	・毎年、がん検診・健康診査を受診し、生活習慣病等の発症予防に活かすことができる。
⑦ 生活習慣病（NCDs）重症化予防	・合併症について知り、重症化予防ができる。

## 食育推進計画

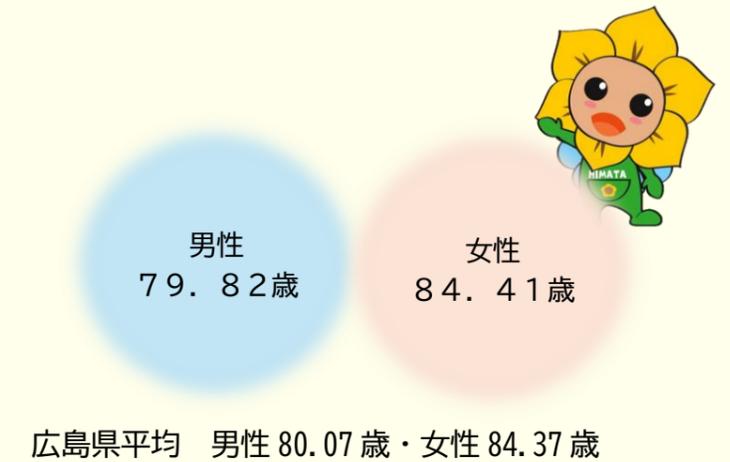
重点分野	目指す姿
① 心身の健康と幸せをつくる	・「食」に関心をもち、自分自身にとっての適切な「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、実践につなげる。 ・バランスの良い食事について理解し、野菜摂取量の増加を目指す。 ・食を通して人とつながり、豊かな心を育むことができる。
② 生涯を健やかに過ごす	・生活習慣病等の発症予防につながる食生活習慣を身につける。 ・食塩摂取量の減少を図る。
③ 持続可能な食を支える	・日本の伝統的な和食文化を大切にし、継承することができる。 ・学校給食や家庭において、産地や生産者を意識して農林水産物等の食品を選択する機会を増やす。

## 海田町の健康状況

### 健康寿命

海田町の健康寿命は、男性 79.82 歳、女性 84.41 歳で、広島県、全国に比べ男性はやや低く、女性はやや高くなっています。

※健康寿命は、「健康寿命のあり方に関する有識者研究会報告書」等を踏まえ、「日常生活に制限のない期間の平均」を指標として用います。



健康増進に関わる主な目標指標					
項目	現状	目標	項目	現状	目標
肥満者（BMI 25 以上）の割合	20～69 歳男性 30.1% 40～69 歳女性 19.5% (R4 年度)	20～69 歳男性 25% 40～69 歳女性 19%	特定健診受診率	36.2% (R4 年度)	60%
肥満傾向にある子どもの割合	男子 17.2% 女子 13.6% (R5 年度)	7.0%以下	がん検診受診率	胃 7.1%(11 位) 肺 5.0%(16 位) 大腸 7.2%(12 位) 子宮頸 24.6%(1 位) 乳 19.5%(4 位) (R3 年度)	県内受診率上位 10 位以内
日常生活における歩数	男性 4,378 歩 女性 3,756 歩 (R5 年)	7,100 歩	骨粗鬆症検診受診率	3.44% (R4 年度)	増加
運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合	男子 85.1% 女子 76.5% (R5 年度)	増加	メタボ*予備群・該当者の割合	予備群 11.1% 該当者 22.2% (R4 年度)	予備群 7% 該当者 12%
いきいき活動ポイント参加率	36.2% (R4 年 12 月)	増加	COPD の認知度	46.6% (R5 年)	55%
12 歳児のう歯のない者の割合	82.5% (R4 年度)	90%	脳血管疾患・虚血性心疾患の死亡率	脳血管疾患 54.4% 虚血性心疾患 40.8% (R3 年)	減少
睡眠時間が十分に確保できている者の割合	81.5% (R5 年)	85%			

\*メタボリックシンドロームの略

食育推進に関わる主な目標指標					
項目	現状	目標	項目	現状	目標
食育に関心をもっている住民の割合	65.4% (R5 年)	70%	野菜を毎食食べている住民の割合	19.6% (R5 年)	30%
朝食を欠食する（ほとんど食べない）住民の割合	12.8% (R5 年)	10%	減塩を意識している住民の割合	36.0% (R5 年)	50%
栄養バランスに配慮した食生活を実践する住民の割合	37.2% (R5 年)	45%	地産地消の認知度	85.3% (R5 年)	増加
			食品ロスの認知度	93.7% (R5 年)	増加